





【骨密度測定】大阪府内市町村における令和6年度の取組状況

市町村名	7. 骨密度測定について							8. 受診勧奨、普及・啓発										9. 測定後の対応																				
	(1) 骨密度測定		(2) 骨密度測定の捉え方					(1) 対象者の限定					(2) 受診勧奨、普及・啓発の方法					(1) 測定結果による区分の実施				(2) 測定後の保健指導・受診(受療)勧奨																
	①	②	①	②	③	④	⑤	0	1 限定ありの場合			①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	1) 「異常なし」の対応			2) 「要指導」の対応					3) 「要精検」の対応					4) 保健指導の方法				
	健康増進計画の指標としている	骨密度検査・測定を市町村と健康増進計画の指標としている	実施中+取り組み拡大を検討	実施中	未実施+検討中	未実施	その他	限定なし(住民全員)	限定あり	① 性別	② 年齢	③ 健康保険	① 受診券やハガキ・封書等の送付による勧奨	② ホームページ、広報誌での骨密度測定案内	③ ポスター掲示、チラシの自由配布	④ 他事業での声掛け	⑤ その他	① 区分していない	② 「異常なし」「要指導」「要精検」という結果は出ているものの受診者に示していない	③ 区分を受診者に示している	④ その他	① 翌年度の検診・測定への受診勧奨	② 骨粗鬆症予防に関する保健指導の実施	③ その他	① 翌年度の検診・測定への受診勧奨	② 骨粗鬆症対策についての保健指導の実施	③ 生活習慣行動の改善指導等の健康事業への参加の促し	④ 再検査の案内	⑤ その他	① 医療機関での精密検査の受診勧奨	② 受診勧奨後の受療確認	③ 骨粗鬆症対策についての保健指導の実施	④ 生活習慣行動の改善指導等の健康事業への参加の促し	⑤ 翌年度の検診・測定への受診勧奨	① 個別での指導(対面)	② 集団での指導(対面)	③ リフレット等の配布	④ その他
大阪市	●		●					●		●			●	●					●					●	●				●	●					●		●	
堺市		●				●																																
豊中市				●			●						●	●		●						●	●												●		●	
吹田市				●				●		●			●	●	●							●	●															
池田市				●				●		●			●	●								●	●															
箕面市						●																																
能勢町				●			●														●																	
豊能町	●			●				●		●			●	●																								
高槻市				●				●		●	●		●	●							●																	●
茨木市	●	●		●				●		●			●	●							●																	
摂津市			●					●		●		●	●								●															●		●
島本町				●				●	●	●			●	●								●																
枚方市				●				●		●	●	●	●								●																	
寝屋川市	●	●			●																																	
交野市		●	●				●														●																	
大東市				●				●		●		●	●								●	●																
四條畷市				●				●	●	●			●	●							●	●																
門真市				●				●		●			●	●	●						●	●																
守口市		●		●				●		●			●	●							●	●																
東大阪市	●	●		●				●		●		●	●								●	●																
八尾市				●				●	●	●			●	●							●	●																
柏原市				●				●		●			●	●							●	●																
松原市						●																																
羽曳野市							●			●											●																	●
藤井寺市						●																																
富田林市				●				●	●	●		●	●	●							●																	
河内長野市						●																																
大阪狭山市						●																																
太子町				●				●	●	●			●	●							●		●															
河南町				●				●	●	●			●	●							●																	
千早赤阪村					●																																	
高石市				●				●		●	●		●	●							●																	
忠岡町				●				●		●			●	●							●																	
和泉市	●			●				●	●	●		●	●	●							●																	
泉大津市	●	●	●				●					●	●	●							●																	
岸和田市	●			●				●		●			●	●							●																	
貝塚市				●				●		●			●	●	●						●																	
泉佐野市				●			●						●	●							●																	
泉南市						●																																
熊取町				●				●	●	●			●	●							●																	
田尻町				●				●	●	●		●	●	●							●																	
阪南市						●		●		●			●	●							●																	
岬町	●			●				●		●			●	●							●																	

●取組ありの市町村数	9	7	7	25	2	7	2	5	29	9	29	3	8	30	13	9	5	3	1	29	1	13	19	5	14	25	10	0	6	23	12	25	11	8	7	24	6	28	1
割合	20.9%	16.3%	16.3%	58.1%	4.7%	16.3%	4.7%	11.6%	67.4%	20.9%	67.4%	7.0%	18.6%	69.8%	30.2%	20.9%	11.6%	7.0%	2.3%	67.4%	2.3%	30.2%	44.2%	11.6%	32.6%	58.1%	23.3%	0.0%	14.0%	53.5%	27.9%	58.1%	25.6%	18.6%	16.3%	55.8%	14.0%	65.1%	2.3%
参考	6	5	4	25	1	8	3	1	31	11	31	5	9	28	11	7	7	2	2	28	0	10	22	2	10	25	9	1	3	25	10	24	11	9	3	22	6	25	1
R5年度取組状況 (R6年度調査結果)	14.6%	12.2%	9.8%	61.0%	2.4%	19.5%	7.3%	2.4%	75.6%	26.8%	75.6%	12.2%	22.0%	68.3%	26.8%	17.1%	17.1%	4.9%	4.9%	68.3%	0.0%	24.4%	53.7%	4.9%	24.4%	61.0%	22.0%	2.4%	7.3%	61.0%	24.4%	58.5%	26.8%	22.0%	7.3%	53.7%	14.6%	61.0%	2.4%

【骨密度測定】大阪府内市町村における令和6年度の実施状況

市町村名	10. 実施の場																								11. 事後					12. その他				
	(1) 骨密度測定を実施している保健事業								(2) 測定の申込方法				(3) 実施体制				(4) 医師会との連携				(5) 実施時期			(6) 測定費用の自己負担		(1) 測定結果の管理					(3) 実施件数			
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	①	②	③	④	1) 担当部署(事業計画等を行う)		2) 測定等の直接的な実施		①	②	③	④	①	②	③	①	②	③	①	②	③	④	⑤	①	②	③
大阪市			●		●	●	●		●	●			●			●								●									●	14,964
堺市																																		
豊中市						●				●	●	●		●											●									
吹田市							●					●					●	●	●					●									●	315
池田市	●		●					●	●			●	●	●			●	●	●					●	●								●	896
箕面市																																		
能勢町						●																			●								●	171
豊能町			●																						●								●	291
高槻市	●		●					●	●			●	●				●							●	●								●	2,064
茨木市							●		●	●		●													●								●	605
摂津市	●		●					●	●							●								●									●	2,091
島本町	●		●					●	●			●													●								●	148
枚方市	●					●		●	●			●	●															●					●	731
寝屋川市																																		
交野市	●		●		●						●	●					●	●							●								●	1,814
大東市			●						●			●						●	●						●								●	97
四條畷市			●						●			●						●	●						●								●	31
門真市						●			●	●		●						●							●								●	230
守口市							●	●	●			●									●				●								●	953
東大阪市		●			●	●			●	●		●						●							●								●	1,097
八尾市	●		●	●		●		●	●			●				●					●				●								●	559
柏原市			●						●			●	●					●							●								●	650
松原市																																		
羽曳野市						●						●									●							●					●	453
藤井寺市																																		
富田林市							●		●			●					●								●								●	53
河内長野市																																		
大阪狭山市																																		
太子町			●						●			●													●								●	249
河南町	●		●					●	●			●												●	●								●	238
千早赤阪村																																		
高石市	●											●													●								●	562
忠岡町	●		●					●	●			●													●								●	217
和泉市	●		●					●	●			●													●								●	775
泉大津市			●		●			●	●			●	●												●								●	990
岸和田市	●		●					●	●			●													●								●	889
貝塚市	●		●		●			●	●			●												●	●								●	559
泉佐野市						●						●													●								●	
泉南市																																		
熊取町			●						●			●													●								●	218
田尻町	●		●					●	●			●													●								●	220
阪南市						●			●			●													●								●	
岬町	●		●			●		●	●			●													●								●	207

●取組ありの市町村数	15	1	21	1	4	10	7	1	14	24	12	2	31	6	2	10	24	2	4	14	11	3	17	18	1	15	19	測定実施ありの市町村での平均費用	2	27	5	13	1	3	31	-		
割合	34.9%	2.3%	48.8%	2.3%	9.3%	23.3%	16.3%	2.3%	32.6%	55.8%	27.9%	4.7%	72.1%	14.0%	4.7%	23.3%	55.8%	4.7%	9.3%	32.6%	25.6%	7.0%	39.5%	41.9%	2.3%	34.9%	44.2%	¥ 414.7	4.7%	62.8%	11.6%	30.2%	2.3%	7.0%	72.1%	-		
参考		*	*			*			*	*			*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	測定実施ありの市町村での平均費用	0	25	4	13	3	0	32	-
R5年度取組状況(R6年度調査結果)	13	0	18	1	3	5	9	5	15	23	7	5	*	*	*	*	*	*	4	14	7	4	18	12	3	13	18	測定実施ありの市町村での平均費用	0	25	4	13	3	0	32	-		
	31.7%	0.0%	43.9%	2.4%	7.3%	12.2%	22.0%	12.2%	36.6%	56.1%	17.1%	12.2%	*	*	*	*	*	*	9.8%	34.1%	17.1%	9.8%	43.9%	29.3%	7.3%	31.7%	43.9%	¥ 391.9	0.0%	61.0%	9.8%	31.7%	7.3%	0.0%	78.0%	-		

【口コモ予防】大阪府内市町村における令和6年度の取組状況

市町村名	1. 住民全体への口コモ予防の普及・啓発				2. 現在の口コモ予防を目的とした事業の実施状況について																						
	あり(方法)				(1) 健康増進事業での実施				(2) 介護予防事業での実施				(3) 健康増進事業と介護予防事業の両方での実施				(4) その他の事業での実施										
	① 実施なし	② 広報紙・市ホームページ	③ ポスター掲示・チラシ配布	④ メール・SNS・アプリ その他(詳細)	なし	① 1つ	② 2つ	③ 3つ以上	事業数	事業に参加した人数	事業終了後の運動習慣がより良くなった人数	なし	① 1つ	② 2つ	③ 3つ以上	事業数	事業に参加した人数	事業終了後の運動習慣がより良くなった人数	なし	① 1つ	② 2つ	③ 3つ以上	事業数	事業に参加した人数	事業終了後の運動習慣がより良くなった人数		
大阪市				区ごとに住民の介護予防の取組みを実施するための健康情報媒体を作成																							
堺市								4	50	不明					9	305	40										
豊中市								3	2649	不明						363	不明										
吹田市									39	0																	
池田市																									16	0	
箕面市																延べ342	0										
能勢町																											
豊能町																								176	0		
高槻市																	不明	不明									
茨木市				介護予防手帳配布					4931	不明					7	48342	不明										
摂津市																85	0										
島本町									3	183	不明																
枚方市																	21	延30,308人	0								
寝屋川市				指輪っかテストシールをセンター内に掲示					30	不明						105	0										
交野市									172	不明					3	延べ16,312	不明								598	不明	
大東市																											
四條畷市																	不明	不明						5	延べ295	不明	
門真市																									231	0	
守口市									24	0																	
東大阪市																	116	不明						9	9		
八尾市																	335	0									
柏原市																											
松原市																3	実217	0								延べ541	0
羽曳野市										延べ133人	0				5	延べ3,224	不明										
藤井寺市																											
富田林市				後期高齢者健診から口コモハイリスク者を抽出して案内送付													延べ636	不明							81	不明	
河内長野市									132	0							874	0							27	0	
大阪狭山市									36	不明														22	5		
太子町										延べ181	不明				3	不明	不明										
河南町									6	不明						78	13										
千早赤阪村																9	8								258	0	
高石市									4	1231	不明																
忠岡町																	延べ204	9								延べ215	不明
和泉市																	242	0							65	0	
浪大津市																								7	1523	不明	
岸和田市																											
貝塚市									300	0							1384	0									
泉佐野市																6	21125	不明									
泉南市									28	0							224	0						3	679	0	
熊取町				特定健診時の体組成測定結果より、フレイルのチェックに該当した方に受講啓発					36	不明								不明	不明								
田尻町																											
阪南市				介護予防教室等参加者に講話や運動実技の中で啓発している																				4	6248	不明	
岬町																	9	206	不明								

● 記入市町村数	15	20	22	4	6	6	26	12	1	4	4	17	17	17	13	5	8	8	26	26	36	3	0	4	4	7	7	31	10	0	2	2	12	12
割合(%)	34.9	46.5	51.2	9.3	14.0	14.0	60.5	27.9	2.3	9.3	9.3	39.5	39.5	39.5	30.2	11.6	18.6	18.6	60.5	60.5	83.7	7.0	0.0	9.3	9.3	16.3	16.3	72.1	23.3	0.0	4.7	4.7	27.9	27.9
割合の分母	回答市町村数43					回答市町村数43																												





【ロコモ予防】大阪府内市町村における令和6年度の取組状況

市町村名	3. ロコモ予防を目的とした事業のうち、特に重点を置いて取り組んでいる事業の内容について (2) 事業評価	4. アピールポイント、課題、R7新規事業の計画	R7新規計画実施			
	事業評価の方法	アピールポイント	課題	① 計画実施せず	② 計画したが実施せず	③ 計画実施あり
大阪市	百歳体操の立ち上げ時と3か月後に体力測定（Timed Up and Go テスト、フアンクショナルリーチ）を実施している。事業開始当初（2018～2020年度）に、参加者の要介護度や介護給付費、体力測定及びアンケート結果について分析を実施した。以降、住民主体の通いの場参加者数及び事業の申込回数や参加者数にて評価を実施している。	介護予防に資する住民主体の通いの場として、市内57か所で百歳体操グループが活動している。本市では、体操を始めるための物品（おもりやボール等）の貸出とリハビリテーション専門職の派遣を行い、百歳体操グループの活動を続けやすくするよう支援している。				●
堺市	既存自主グループへの参加者数		効果的な運動の頻度で実施することができない(月1回など頻度が少なくなりがち)			●
豊中市	アウトプット…参加人数、フレイルチェック結果 アウトカム…参加時アンケートにて参加時の運動習慣の有無や参加後の意識の変化について把握	働く世代も含めた若年層もターゲットに事業を展開している。	ロコモ予防のみを目的とした事業の実施は幅が狭く、難しい。ロコモをテーマにする参加者が高齢者ばかりに偏る。			●
吹田市	アンケート結果（講座は参考になったか、講座の理解度など）を年度末に評価し、次年度事業に活かす。			●		
池田市	参加者数	「おさがら健康教室」はフレイル予防の普及啓発を主目的として、講義や体操等を行っている。				●
箕面市	委託事業者から提出される報告書をもとに事業評価を実施している。事業の参加団体数・参加人数、参加者状況(基本チェックリスト、アンケート)、ロコモ度など。いずれも横断的なものであり、縦断的な評価や他群との比較は実施できていない。	特になし		●		
能勢町	アンケートで講義内容の理解度や意識の変化を把握し評価している。			●		
豊能町				●		
高槻市	グループ単位での体力測定結果（経年比較）、フレイル認知度、参加者の様子、参加者数、要介護等認定率、健康寿命などのデータをもとに事業評価を実施している。	体操自主グループの活動を健康教育・健康相談等の関わりを通じて支援している。活動参加者のロコモにより、参加者が増加し、グループ活動が充実する。また、活動拠点が増えれば参加者も増加すると考え、「体操でまちを元気に」をキャッチフレーズに周知啓発に注力している。	前期高齢者や男性の参加者を増やすこと。	●		
茨木市	教室の参加率、体力測定や基本チェックリストの改善度、目標達成率	リハビリ専門職や管理栄養士が教室に定期訪問し、ハイリスク者には個別支援を行っている	教室で介護予防に取り組みるよう認知度を上げる必要がある	●		
摂津市	参加者数					●
島本町	量的評価（体重やBMI、体組成データなど） 質的評価（発言、QOLの変化など）			●		
枚方市	本事業のみの評価ではないが、運動習慣者の割合を毎年スマホアンケートにて把握している	ロコモ予防を目的とした事業としては実施せず、運動の大切さを啓発している。また、健康づくり課以外が主催するイベントに出向き実施しているため、年間開催数が確保されていない		●		
寝屋川市	教室参加者にアンケートを実施(教室内容の理解度)					●
交野市	参加者に対し、年に1度アンケートを実施。「交流」「身体」「口腔」「気持ち」の主観的な「良い影響」のチェック項目数を経年比較している。	令和6年度施行的に介護予防教室を開催し、令和7年度より通所型サービスCを実施。	地域で活動しているボランティアの減少。新規参加者の獲得が難しい。			●
大東市	参加者数、参加団体数、アンケート、フォローにつなげた数	既存の通いの場に出向くことで、教室開催では申し込めない人も出会うことができる。	団体からの申込がないと介入が難しい。そのため令和7年度は通いの場の中でも地区組織が中心となって行う団体にターゲットを絞り、全地区の開催を目標に調整を図っている。	●		
四條畷市	参加人数、フレイルとその予防方法の理解度	フレイル予防教室を開催し、参加者に対してロコモ予防の普及啓発もしている。	事業成果が表れにくい			●
守口市	アンケート配布			●		
東大阪市	事業評価を実施していない			●		
八尾市	介護予防教室全体における参加者数や実施回数については経年で評価しているが、ロコモ予防を目的とした教室に関する事業評価としては行っていない。			●		
柏原市	事業実施後にアンケート調査をしている。（参加者数・講座内容の理解度など）			●		
松原市						●
羽曳野市	大阪公立大学に委託し評価事業を実施しており、2年かけてアンケートを実施し、数年かけて分析調査予定。	市内に8カ所のいきいき百歳体操が自主グループとして活動しており、年に1回フォローアップで体操の指導や相談会を実施している。できるだけ多くの人が参加継続できるよう、会場のない地域への立ち上げ支援も実施している。	代表者の高齢化により代表者交代や閉鎖の会場も出てきている。近所に体操を実施していない地域もあり、立ち上げ支援や回りの補助も実施しているが、代表者に手上げに難を示す地域もある。自主グループのため参加者を町会限定に設定する等、近所でも通えない市民もあり、さらに多くの会場立ち上げが必要な状況である。	●		
藤井寺市	参加者数、教室参加前後の測定結果の比較	年度により対象者、1グループあたりの実施回数、場所を変えて開催している。令和6年度は一般市民は市広報誌で募集し、後期高齢者健診の結果からハイリスク者に案内を送付して参加者を募った。	ロコモ予防について学んだ対象者が予防活動を継続できる仕掛けづくり。自主グループ化や自身が参加しているグループ（例：老人会）等でのロコモレの実施等、学んだ人自身が継続したり、学んだ人が地域に普及する動きを進められたらと思う。	●		
富田林市	特になし			●		
河内長野市	特になし			●		
大阪狭山市			既存の事業（骨粗しょう症）にフレイルのリスクのある方に勧奨していることで対象者の年齢層が広がり身体状況も様々なため、保健指導内容が本人にとって実施が難しいこともある。	●		
太子町	参加者数、延参加者数の把握 管理栄養士・理学療法士・保健師による健康教育や保健指導の実施者数 体力測定、事前事後評価アンケートによる心身の状況の変化、教室終了後の運動習慣の継続の有無	男性の参加も多く、新規者のみで教室を実施している。継続参加希望（リピーター）はサポーターにもっている。	・会場までの交通手段がない方、バス停が遠い、バスの時間が合わない等の理由で来所が困難な方への対応 ・認知症の症状がある方が増えているため、スタッフが対応に追われ、人員配置が課題。	●		
河南町	参加後にアンケート調査を実施し、事業評価をしている（評価の項目…運動習慣がいつかどうか）。	理学療法士によるロコモレを中心とした介護予防トレーニングを実施し、参加は身体が軽くなった、動きやすくなった、気分転換になったとの感想があり、運動の効果を感じている。	毎年同じ人の参加が多い。新規参加者を募集できるような幅広い周知に努めていきたい。	●		
千早赤阪村	ポピュレーションアプローチにおける実施した通いの場の数、参加者数、実施回数			●		
高石市	保健指導後の医療機関受診率（要医療の対象者）			●		
忠岡町	事業前後の体力測定、参加状況			●		
和泉市	教室終了後のアンケート結果や教室前後での体力測定等の変化などから事業評価を実施。	高齢介護室では、運動機能向上クラス・認知機能向上クラス・生活習慣改善クラス・地域出張型介護予防教室・おためし「いきいきみ体操」5種類のクラスで介護予防（フレイルの視点も含む）教室を実施。	高齢介護室の事業において、前期高齢者・男性の参加者数が少ない。	●		
浪大津市	アウトプット評価として、定例に対する申込者数としている。開催時間、場所などは他課と連携して実施している事業であるため、話し合いをする場を設け、課題、改善点を洗い出し、事業に繋げている。			●		
岸和田市				●		
貝塚市	実施回数、延べ参加者数			●		
浪佐野市	関係機関担当者間での個人の最終評価、および事業評価（目標達成度、毎月体力測定を行い変化をみる。）		予防に対する意識づけが弱く、事業参加者が少ない。	●		
浪南市	参加者数			●		
熊取町	参加者数および、生活状況の確認および体組成計測定結果から、運動・食事について行動定着できているか、BMIや3M1値は上がっている者の割合で評価しています。	講座の前後に体組成計測定を行うことで、数値で効果を知ることができる。特定健診時に体組成計測定とフレイルチェックを行い、フレイル予防が必要な方にも、講座を案内しているため、フレイル状態の方にも受講動員を行っている。	受講3か月後に測定会を実施しているが、参加者が少なく個人の評価はもう少し事業評価もしづらいことが課題です。	●		
田尻町	KC(基本チェックリスト)を使用する事業では前後の比較			●		
阪南市						●
岬町	健康教室の初回と最終回にアンケートを実施しており、その内容で事業評価を実施している。（初回時に個人目標を立て、最終回の時に達成ができていたかを確認している。）			●		
● 記入市町村数	36	16	17	32	0	11
割合(%)	97.3	37.2	39.5	74.4	0.0	25.6
割合の分母	回答事業数47		回答市町村数43			

## 【骨粗鬆症検診】大阪府内市町村における令和6年度の取り組み状況

「その他」でご回答いただいた内容

項目番号	項目	内容	市町村
2. (2) ⑦	受診勧奨以外の広報・啓発 (個別の受診勧奨以外)	特定健診に関するチラシ・ハガキへの掲載	大阪市
2. (2) ⑦	受診勧奨以外の広報・啓発 (個別の受診勧奨以外)	健康アプリでの啓発	堺市
2. (2) ⑦	受診勧奨以外の広報・啓発 (個別の受診勧奨以外)	(窓口等での) チラシの配架・配布	島本町/貝塚市
2. (2) ⑦	受診勧奨以外の広報・啓発 (個別の受診勧奨以外)	国保の受診勧奨はがきや受診券発送時の同封パンフレットでの骨密度検査の案内	八尾市
2. (2) ⑦	受診勧奨以外の広報・啓発 (個別の受診勧奨以外)	令和7年度保健事業案内	松原市
2. (2) ⑦	受診勧奨以外の広報・啓発 (個別の受診勧奨以外)	市のLINEでの案内	羽曳野市/藤井寺市
2. (2) ⑦	受診勧奨以外の広報・啓発 (個別の受診勧奨以外)	他検診受付時に案内	富田林市
2. (2) ⑦	受診勧奨以外の広報・啓発 (個別の受診勧奨以外)	国保加入者が対象の特定健診において、オプションとして骨密度検査(超音波法)を受けられた方のうち、結果がハイリスクであった方に、骨粗しょう症検診(前腕でのDXA法)での受診を勧める案内を郵送。	貝塚市
2. (3) ⑥	骨粗鬆症検診等に関する 掲載情報	対象者 満40歳以上の女性	八尾市
2. (3) ⑥	骨粗鬆症検診等に関する 掲載情報	対象者	藤井寺市
2. (3) ⑥	骨粗鬆症検診等に関する 掲載情報	実施日程	藤井寺市/河南町/ 貝塚市
3. (1) 1) ③	「異常なし」の対応	当日は検査結果を説明し終了。受診者には事前に骨粗鬆症予防のリーフレット送付。	八尾市
3. (1) 1) ③	「異常なし」の対応	医師による結果説明と骨粗しょう症予防について指導	羽曳野市
3. (1) 1) ③	「異常なし」の対応	問診票・結果票に生活のポイントと教室等の案内を掲載	大阪狭山市
3. (1) 1) ③	「異常なし」の対応	骨粗鬆症予防のための食事や運動の啓発資料を結果に同封している	太子町
3. (1) 1) ③	「異常なし」の対応	後日、検診結果と結果説明書と運動・食事のリーフレットを郵送している。	泉大津市
3. (1) 1) ③	「異常なし」の対応	骨粗しょう症予防に関する栄養相談の実施	岸和田市
3. (1) 2) ⑤	「要指導」の対応	食生活におけるアンケートを実施し、そのアンケートについての食生活改善指導を行う	大阪市
3. (1) 2) ⑤	「要指導」の対応	当日は検査結果を説明し終了。受診者には事前に骨粗鬆症予防のリーフレット送付。	八尾市
3. (1) 2) ⑤	「要指導」の対応	医師による結果説明と骨粗しょう症予防について指導	羽曳野市
3. (1) 2) ⑤	「要指導」の対応	骨粗鬆症教室の勧奨	大阪狭山市
3. (1) 2) ⑤	「要指導」の対応	骨粗鬆症予防のための食事や運動の啓発資料を結果に同封している	太子町
3. (1) 2) ⑤	「要指導」の対応	後日、検診結果と結果説明書と運動・食事のリーフレットを郵送している。	泉大津市
3. (1) 2) ⑤	「要指導」の対応	骨粗しょう症対策についての栄養相談の実施	岸和田市
3. (2) 3) ①	受診勧奨後の受療確認	手紙(文書、本人宛)	大阪市/高槻市/摂津市/ 寝屋川市/大東市/ 守口市/八尾市/藤井寺市/ 河南町
3. (2) 3) ①	受診勧奨後の受療確認	精検結果の報告書、紹介状の発行(医療機関宛)	大阪市/豊中市/吹田市/ 池田市/島本町/四條畷市/ 柏原市/松原市/富田林市/ 太子町/千早赤阪村/ 和泉市/岸和田市/ 貝塚市/泉南市/ 田尻町
3. (2) 3) ①	受診勧奨後の受療確認	TEL等での確認	摂津市/寝屋川市/ 守口市/八尾市/ 藤井寺市/ 大阪狭山市/ 貝塚市
3. (2) 3) ①	受診勧奨後の受療確認	システムで確認	泉佐野市
3. (2) 3) ⑤	「要精検」の対応	50, 55, 60, 65, 70歳女性のみ医療機関での精密検査受診勧奨のため紹介状発行。	摂津市
3. (2) 3) ⑤	「要精検」の対応	希望者に対し、食生活・運動に関する保健指導の実施。必要に応じて握力測定を実施。	柏原市
3. (2) 3) ⑤	「要精検」の対応	医師による結果説明と指導。必要時、経過観察・治療へつなげる	羽曳野市
3. (2) 3) ⑤	「要精検」の対応	骨粗鬆症予防のための食事や運動の啓発資料を結果に同封している	太子町
3. (2) 3) ⑤	「要精検」の対応	後日、検診結果と結果説明書と運動・食事のリーフレット、精密検査受診のお願いと紹介状を郵送している。	泉大津市
3. (2) 3) ⑤	「要精検」の対応	骨粗しょう症対策についての栄養相談の実施	岸和田市
3. (2) 3) ⑤	「要精検」の対応	かかりつけ医への相談を勧奨	岬町
3. (2) 4) ④	保健指導の方法	動画視聴	堺市
3. (2) 4) ④	保健指導の方法	特定保健指導の同時実施	田尻町
3. (2) 5)	測定後の保健指導・受診 (受療)勧奨 - その他	YAM (%) 値を示した骨密度測定結果を渡して指導・勧奨している。	摂津市
3. (2) 5)	測定後の保健指導・受診 (受療)勧奨 - その他	結果が視覚的にわかるよう色分けしたグラフを用いて表記を行い、市民に対する結果説明に役立っている。	門真市
3. (2) 5)	測定後の保健指導・受診 (受療)勧奨 - その他	骨粗しょう症検診時に希望者に体組成計測定を行い、体組成計測定結果も踏まえ保健指導を実施しています。	熊取町
4. (1) ⑧	骨粗鬆症検診を実施している 保健事業	特定保健指導	守口市
4. (1) ⑧	骨粗鬆症検診を実施している 保健事業	歯周疾患検診	泉南市
4. (3) 1)	担当部署(事業計画等を行う)	保健センターが指定管理の業務として実施	摂津市

## 【骨粗鬆症検診】大阪府内市町村における令和6年度の取り組み状況

「その他」でご回答いただいた内容

項目番号	項目	内容	市町村
4. (3) 2)	測定等の直接的な実施	保健センターが指定管理の業務として実施	摂津市
4. (3) 3)	その他実施体制	乳がん・子宮頸がん等女性がん検診と同日に実施。	四條畷市
4. (3) 3)	その他実施体制	検診機関に委託して実施	松原市
4. (3) 3)	その他実施体制	受診後は専門職の指導を直営で行っている。	阪南市
4. (4) ④	医師会との連携	問診の看護師、放射線技師の手配と日程調整	守口市
4. (4) ④	医師会との連携	要精検者には、主に八尾市内の整形外科への受診を案内	八尾市
4. (5) 3)	実施時期	集団検診で年5回実施	門真市
4. (5) 3)	実施時期	年2回のみ単独の事業として実施	藤井寺市
4. (5) 3)	実施時期	令和6年5月1日(水)～9月30日(月)の診療時間内で実施	千早赤阪村
4. (5) 3)	実施時期	年1回実施	阪南市
4. (6) 2)	検診費用の自己負担	市民税非課税世帯は無料	堺市/吹田市/池田市/ 高槻市/大東市/門真市/ 岸和田市/貝塚市/泉南市
4. (6) 2)	検診費用の自己負担	生活保護世帯は無料	堺市/吹田市/池田市/ 高槻市/摂津市/島本町/寝屋川市/ 大東市/四條畷市/門真市/守口市/ 大阪狭山市/忠岡町/岸和田市/ 貝塚市/泉南市/岬町
4. (6) 2)	検診費用の自己負担	65歳以上は無料	吹田市/
4. (6) 2)	検診費用の自己負担	70歳以上は無料	高槻市/大東市/門真市/ 貝塚市/泉南市/岬町
4. (6) 2)	検診費用の自己負担	国民健康保険加入者は無料	吹田市/島本町/ 守口市
4. (6) 2)	検診費用の自己負担	イベント等での実施は無料	
4. (6) 2)	検診費用の自己負担	後期高齢者医療被保険者は無料	摂津市/島本町/ 岸和田市
4. (6) 2)	検診費用の自己負担	後期高齢者医療被保険者(65～69歳で一定の障がいのある方)は無料	高槻市
4. (6) 2)	検診費用の自己負担	身体障害者手帳1～4級の交付を受けている方は無料	池田市
4. (6) 2)	検診費用の自己負担	身体障害者手帳1,2級の交付を受けている方は無料	大東市/四條畷市
4. (6) 2)	検診費用の自己負担	療育手帳AまたはB1の交付を受けている方は無料	池田市
4. (6) 2)	検診費用の自己負担	療育手帳Aの交付を受けている方は無料	大東市/四條畷市
4. (6) 2)	検診費用の自己負担	精神障害者保健福祉手帳1級又は2級の交付を受けている方は無料	池田市
4. (6) 2)	検診費用の自己負担	精神障害者保健福祉手帳1級の交付を受けている方は無料	大東市/四條畷市
4. (6) 2)	検診費用の自己負担	被爆者健康手帳の交付を受けている方は無料	池田市
4. (6) 2)	検診費用の自己負担	中国残留邦人等の支援受給者	堺市/摂津市/岸和田市
4. (6) 2)	検診費用の自己負担	ひとり親家庭医療証所持の方は無料	岸和田市
5. (2)	骨粗鬆症検診の事業評価の方法	市民アンケートによる過去5年間の骨粗しょう症検診を受けた者の割合(40～74歳女性)	大阪市
5. (2)	骨粗鬆症検診の事業評価の方法	受診者数	堺市/和泉市
5. (2)	骨粗鬆症検診の事業評価の方法	受診率や精度管理指標(要精検率や精検受診率等)での評価	豊中市
5. (2)	骨粗鬆症検診の事業評価の方法	年齢別の受診者数、受診率、要精検率、精検受診率を年度末に評価し、啓発活動等に生かしている	吹田市
5. (2)	骨粗鬆症検診の事業評価の方法	検診受診率と精検受診率	池田市
5. (2)	骨粗鬆症検診の事業評価の方法	受診者数を把握し、データヘルズ計画においては、『40歳以上女性千人当たりの骨折入院レセプト件数0.7件以下』についてをアウトカム評価としている。	茨木市
5. (2)	骨粗鬆症検診の事業評価の方法	受診者の年代別集計や、精検受診率、精検結果などから実施機関である保健センターと年数回の事業評価を実施。	摂津市
5. (2)	骨粗鬆症検診の事業評価の方法	町内の事業成果報告、地域医療・保健事業推進協議会、地域保健・健康増進報告で年1回報告をしている。	島本町
5. (2)	骨粗鬆症検診の事業評価の方法	受診者数の推移等で評価している	交野市
5. (2)	骨粗鬆症検診の事業評価の方法	性年齢別の受診者数を経年で評価している。	大東市
5. (2)	骨粗鬆症検診の事業評価の方法	検診の要精検率、要指導率を確認し、次年度の保健指導内容を検討。	四條畷市
5. (2)	骨粗鬆症検診の事業評価の方法	受診者数の推移で評価している。	門真市
5. (2)	骨粗鬆症検診の事業評価の方法	事業の流れ、申込者数、受診者数、要精検者の受診結果把握	八尾市
5. (2)	骨粗鬆症検診の事業評価の方法	令和7年度実施にあたり、受診率・受診数の把握、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施体制の中で、高齢介護課・保険年金課とKDBIによるデータ分析を共有している。	柏原市
5. (2)	骨粗鬆症検診の事業評価の方法	年代別受診率の経年評価	羽曳野市
5. (2)	骨粗鬆症検診の事業評価の方法	受診率	富田林市/泉南市/ 阪南市
5. (2)	骨粗鬆症検診の事業評価の方法	受診者数、要精検者数の把握 / 管理栄養士による健康教育や保健指導の実施者数	太子町
5. (2)	骨粗鬆症検診の事業評価の方法	年度に1回行われる「千早赤阪村保健事業推進協議会」で受診者数、受診率等を前年度と比較。来年度の計画の検討を行っている。	千早赤阪村
5. (2)	骨粗鬆症検診の事業評価の方法	前年度の受診者数や受診率、要精検受診者数や受診率を出し、事業評価を行っている。	泉大津市
5. (2)	骨粗鬆症検診の事業評価の方法	受診者数、受診率の経年推移	岸和田市/泉佐野市
5. (2)	骨粗鬆症検診の事業評価の方法	受診者数を過去5年間と比較 地域保健・健康増進事業報告時に測定結果区分の人数・割合を確認	岬町
6. (1)	アピールポイント	がん検診との同時実施だけでなく、土日祝日の健康イベントにおいて併設し、予約不要にて実施している。	大阪市

## 【骨粗鬆症検診】大阪府内市町村における令和6年度の取り組み状況

「その他」でご回答いただいた内容

項目番号	項目	内容	市町村
6. (1)	アピールポイント	検診協力医療機関が多く、受診しやすい。	吹田市
6. (1)	アピールポイント	当日でも空きがあれば受診可能。	茨木市
6. (1)	アピールポイント	15歳以上の市民であれば誰でも受けることができる。予約制にはしているが、予約なしで来場した市民も受診することができる。	門真市
6. (1)	アピールポイント	今後医師会との連携をさらに図り、検診実施医療機関の拡大を目指す	羽曳野市
6. (1)	アピールポイント	かかりつけ医のところで特定健診や大腸がん検診と同時にうけることができる。市内実施医療機関が多い。	富田林市
6. (1)	アピールポイント	50歳・55歳の方には、5月初旬に郵送で受診券を送付。申込せずに受診できる体制を構築している。	千早赤阪村
6. (1)	アピールポイント	30歳以上の町民であれば年度内に1回受診可能。	志岡町
6. (1)	アピールポイント	対象者を40歳以上の女性市民とし、毎年受診できる体制を整備している。	泉大津市
6. (1)	アピールポイント	骨粗鬆症検診を受けると、健康マイレージが500ポイント貯まる。貯めたポイントは泉佐野市の地域ポイントに交換して利用できる。	泉佐野市
6. (1)	アピールポイント	特定健診やがん検診と同日で受診可能	岬町
6. (2)	課題	保健センターで直営実施しているため、受診できる人数に限りがある。また、超音波骨密度測定装置のメンテナンスや機器の買い替えなどに費用がかかり、事務手間が発生する。	堺市
6. (2)	課題	課題1:他の年齢と比較して40代の受診率が低い。対策の方針2:検診対象前の年代が集まるイベントや保護者会、SNS、個別通知等で受診勧奨を実施。 課題2:DXA検骨とQUSの精検受診率が低い。対策の方針2:実施医療機関へ結果説明時の精検受診勧奨依頼を行い、精検未受診者に対して郵送等で精密検査を促す。	豊中市
6. (2)	課題	対象者の選定、予算と人員の確保が難しい	能勢町
6. (2)	課題	実施場所が茨木市保健医療センターのみに限定していること。他の胃がん検診や乳がん検診等のように健診チケットを発行していないので、広報等の情報にて把握していないと認識していない方もいる。	茨木市
6. (2)	課題	50, 55, 60, 65, 70歳の女性のうち要精検対象者へは、紹介状を発行し受診勧奨をしているが、その他の年齢の者へは受診勧奨（紹介状無し）を実施している。昨年度までのデータなどを踏まえ、その他の年齢の者への対応として要精検対象者の拡大をするか、今後検討する必要がある。	摂津市
6. (2)	課題	健康増進事業実施要領に基づいて実施したいと考えているが、市の支出が増えることが課題である。また、委託先の医師会と検討を進める中で、検査方法やフォローなど詳細について若干意見の食い違いが生じている。	枚方市
6. (2)	課題	結果区分に応じた、検診頻度の設定のガイドラインが明確でないこと。	交野市
6. (2)	課題	現在集団検診のみの実施となっており、受診率は減少傾向にある。受診率向上に向け個別医療機関での実施も検討していきたいと考えている。	門真市
6. (2)	課題	検診として実施するための予算の確保、及び個別検診で実施する場合の医師会との調整等が必要であるが、現在市で行っている骨密度測定で一定実施できていることから、検討ができていない。	東大阪市
6. (2)	課題	新規受診者の獲得が難しい。	柏原市
6. (2)	課題	今後医師会との連携をさらに図り、検診実施医療機関の拡大を目指す	羽曳野市
6. (2)	課題	推奨される一次健診としての検査方法が決まっていないこと。	富田林市
6. (2)	課題	50歳・55歳の方には、申込せずに受診できる体制を構築しているが、若年層の受診者の割合が少ないこと。	千早赤阪村
6. (2)	課題	予算の確保	高石市
6. (2)	課題	要精密検査受診率が低いことが課題。対象者に個々に説明することで要精検受診率の向上につなげていく。	泉大津市
6. (2)	課題	対象年齢を5歳刻みにしているため、対象年齢時に受けられなかった人は、次回の受診が5年後になる点。	泉佐野市
6. (2)	課題	精密検査の体制が確立できていない	岬町

## 【骨密度測定】大阪府内市町村における令和6年度の取り組み状況

「その他」でご回答いただいた内容

項目番号	項目	内容	市町村
8. (1) ①	対象者の限定；性別	女性に限定	島本町/四條畷市/八尾市/富田林市/太子町/河南町/和泉市/熊取町/田尻町
8. (1) ②	対象者の限定；年齢	15歳以上（上限なし）	大東市/門真市
8. (1) ②	対象者の限定；年齢	15歳以上、前年度骨密度測定を受けていない人	守口市
8. (1) ②	対象者の限定；年齢	16歳以上（上限なし）	摂津市
8. (1) ②	対象者の限定；年齢	18歳以上（上限なし）	大阪市/豊能町/茨木市
8. (1) ②	対象者の限定；年齢	18～70歳	池田市
8. (1) ②	対象者の限定；年齢	20歳以上（上限なし）	東大阪市/羽曳野市/熊取町
8. (1) ②	対象者の限定；年齢	20, 25, 30, 35歳	富田林市
8. (1) ① ②	対象者の限定；年齢・性別	20, 25, 30, 35歳の男女、40, 45, 50, 55, 60, 65, 70歳の男性	吹田市
8. (1) ②	対象者の限定；年齢	30歳以上（上限なし）	島本町/忠岡町/貝塚市
8. (1) ②	対象者の限定；年齢	40歳以上（上限なし）	八尾市/柏原市/太子町/河南町/和泉市/田尻町/阪南市/岬町
8. (1) ②	対象者の限定；年齢	40～70歳	四條畷市
8. (1) ②	対象者の限定；年齢	40～74歳	高槻市
8. (1) ②	対象者の限定；年齢	40-74歳の希望者、65-80歳の市民の方	枚方市
8. (1) ②	対象者の限定；年齢	40歳～70歳 ただし、71歳以上は初回者のみ	岸和田市
8. (1) ① ②	対象者の限定；年齢・性別	女性：50～74歳 /男性：70～74歳	高石市
8. (1) ③	対象者の限定；健康保険	国民健康保険者に限定	高槻市/枚方市/高石市
8. (2) ⑤	受診勧奨、普及・啓発の方法	骨粗しょう症予防の健康教育実施時に勧奨	豊中市
8. (2) ⑤	受診勧奨、普及・啓発の方法	特定健診の受診券に骨粗しょう症検診受診券を同封	摂津市
8. (2) ⑤	受診勧奨、普及・啓発の方法	窓口でのチラシ配架	島本町
8. (2) ⑤	受診勧奨、普及・啓発の方法	国保の受診勧奨はがきや受診券発送時の同封パンフレットでの骨密度検査の案内	八尾市
8. (2) ⑤	受診勧奨、普及・啓発の方法	他検診受付時に案内	富田林市
8. (2) ⑤	受診勧奨、普及・啓発の方法	国保加入者が対象の特定健診において、オプションとして骨密度検査(超音波法)を受けられた方のうち、結果がハイリスクであった方に、骨粗しょう症検診(前腕でのDXA法)での受診を勧める案内を郵送。	貝塚市
9. (1) ④	測定結果による区分の実施	測定会の人には、結果は返しているが、区分は行っていない。	泉大津市
9. (2) 1) ③	「異常なし」の対応	当日は検査結果を説明し終了。受診者には事前に骨粗鬆症予防のリーフレット送付。	八尾市
9. (2) 1) ③	「異常なし」の対応	骨粗鬆症予防のための食事や運動の啓発資料を結果に同封している。	太子町
9. (2) 1) ③	「異常なし」の対応	検診の人には後日、検診結果と結果説明書と運動・食事のリーフレットを郵送している。	泉大津市
9. (2) 1) ③	「異常なし」の対応	骨粗しょう症予防に関する栄養相談	岸和田市
9. (2) 1) ③	「異常なし」の対応	測定後、看護師からリーフレットを用いて、簡単な結果説明と指導を実施	阪南市
9. (2) 2) ⑤	「要指導」の対応	食生活におけるアンケートを実施し、そのアンケートについての食生活改善指導を行う	大阪市
9. (2) 2) ⑤	「要指導」の対応	当日は検査結果を説明し終了。希望者には当日保健指導を案内。リーフレット事前送付。	八尾市
9. (2) 2) ⑤	「要指導」の対応	骨粗鬆症予防のための食事や運動の啓発資料を結果に同封している	太子町
9. (2) 2) ⑤	「要指導」の対応	検診の人には後日、検診結果と結果説明書と運動・食事のリーフレットを郵送している。	泉大津市
9. (2) 2) ⑤	「要指導」の対応	骨粗しょう症対策についての栄養相談	岸和田市
9. (2) 2) ⑤	「要指導」の対応	測定後、看護師からリーフレットを用いて、簡単な結果説明と指導を実施	阪南市
9. (2) 3) ①	受診勧奨後の受療確認	手紙（文書、本人宛）	大阪市/摂津市/大東市/河南町
9. (2) 3) ①	受診勧奨後の受療確認	精検結果の報告書、紹介状の発行（医療機関宛）	大阪市/吹田市/池田市/島本町/四條畷市/柏原市/和泉市/貝塚市/田尻町
9. (2) 3) ①	受診勧奨後の受療確認	TEL等での確認	摂津市/貝塚市
9. (2) 3) ⑤	「要精検」の対応	希望者に対し、食生活・運動に関する保健指導の実施。必要に応じて握力測定を実施。	柏原市
9. (2) 3) ⑤	「要精検」の対応	希望者へ整形外科医師の健康相談を案内し、医師から個別指導を行う	羽曳野市
9. (2) 3) ⑤	「要精検」の対応	骨粗鬆症予防のための食事や運動の啓発資料を結果に同封している	太子町
9. (2) 3) ⑤	「要精検」の対応	検診の人には後日、検診結果と結果説明書と運動・食事のリーフレット、精密検査受診のお願いと紹介状を郵送している。	泉大津市
9. (2) 3) ⑤	「要精検」の対応	骨粗しょう症対策についての栄養相談	岸和田市
9. (2) 3) ⑤	「要精検」の対応	測定後、看護師からリーフレットを用いて、簡単な結果説明と指導を実施	阪南市
9. (2) 3) ⑤	「要精検」の対応	かかりつけ医への相談勧奨	岬町
9. (2) 4) ④	保健指導の方法	特定保健指導の同時実施	田尻町
9. (2) 5)	測定後の保健指導・受診（受療）勧奨 - その他	一体的実施の保健指導と合わせて実施をしている。	枚方市
9. (2) 5)	測定後の保健指導・受診（受療）勧奨 - その他	結果が視覚的にわかるよう色分けしたグラフを用いて表記を行い、市民に対する結果説明に役立っている。	門真市
9. (2) 5)	測定後の保健指導・受診（受療）勧奨 - その他	骨粗しょう症検診時に希望者に体組成計測定を行い、体組成計測定結果も踏まえ保健指導を実施しています。	熊取町
9. (2) 5)	測定後の保健指導・受診（受療）勧奨 - その他	測定会の1ブースとして行っているため、指導は要点のみを簡単に伝えるのみとしている。	阪南市
10. (1) 6) ⑧	骨粗鬆症検診を実施している保健事業	特定保健指導	守口市

## 【骨密度測定】大阪府内市町村における令和6年度の取り組み状況

「その他」でご回答いただいた内容

項目番号	項目	内容	市町村
10. (2) ④	検診・測定の申込方法	事前申し込み制のイベントもあり	豊中市
10. (2) ④	検診・測定の申込方法	地区での骨密度測定会は事前申込制で実施	交野市
10. (3) 1) ③	担当部署（事業計画等を行う）	保健センターが指定管理の業務として実施	摂津市
10. (3) 1) ③	担当部署（事業計画等を行う）	国保の人間ドック申込者は委託医療機関のオプション検査（実費あり）として骨密度検査受診可能	八尾市
10. (3) 2) ③	担当部署（事業計画等を行う）	保健センターが指定管理の業務として実施	摂津市
10. (3) 2) ③	担当部署（事業計画等を行う）	阪南市民病院の「協力」といった形で実施している	阪南市
10. (3) 3)	その他実施体制内容	超音波式の骨密度測定器2台と、検査員4名で実施していただいています。2名が検査の補助、2名がフィードバックにあっています。当日は予約なしで受付してもらっています。	能勢町
10. (3) 3)	その他実施体制内容	巡回子宮がん・乳がん検診の受診時にスギ薬局の協力のもと骨密度測定実施、健康フェアで骨密度測定実施。	茨木市
10. (3) 3)	その他実施体制内容	乳がん・子宮頸がん等女性がん検診と同日に実施。	四條畷市
10. (3) 3)	その他実施体制内容	検診は外部委託で実施。イベント等の測定会は市が実施。	泉大津市
10. (3) 3)	その他実施体制内容	現在阪南市民病院の協力を得て実施しており、協力が得られる間は引き続き現状の実施を考えている	阪南市
10. (4) ④	医師会との連携	問診の看護師、放射線技師の手配と日程調整	守口市
10. (4) ④	医師会との連携	要精検者には、主に八尾市内の整形外科への受診を案内	八尾市
10. (4) ④	医師会との連携	要精検判定の希望者へ医師の健康相談を案内し、医師から個別指導を行う	羽曳野市
10. (5) ③	実施時期	集団検診で年5回実施	門真市
10. (6) 2)	測定費用の自己負担	市民税非課税世帯は無料	吹田市/池田市/高槻市/大東市/門真市/岸和田市/貝塚市
10. (6) 2)	測定費用の自己負担	生活保護世帯は無料	吹田市/池田市/高槻市/摂津市/島本町/大東市/四條畷市/門真市/守口市/忠岡町/岸和田市/貝塚市/岬町
10. (6) 2)	測定費用の自己負担	65歳以上は無料	吹田市
10. (6) 2)	測定費用の自己負担	70歳以上は無料	大東市/高槻市/門真市/貝塚市/岬町
10. (6) 2)	測定費用の自己負担	国民健康保険加入者は無料	吹田市/島本町/守口市
10. (6) 2)	測定費用の自己負担	イベント等での実施は無料	茨木市/泉大津市/岬町
10. (6) 2)	測定費用の自己負担	後期高齢者医療被保険者は無料	摂津市/島本町/岸和田市
10. (6) 2)	測定費用の自己負担	後期高齢者医療被保険者（65～69歳で一定の障がいのある方）は無料	高槻市
10. (6) 2)	測定費用の自己負担	身体障害者手帳1～4級の交付を受けている方は無料	池田市
10. (6) 2)	測定費用の自己負担	身体障害者手帳1, 2級の交付を受けている方は無料	大東市/四條畷市/岸和田市
10. (6) 2)	測定費用の自己負担	療育手帳AまたはB1の交付を受けている方は無料	池田市
10. (6) 2)	測定費用の自己負担	療育手帳Aの交付を受けている方は無料	大東市/四條畷市
10. (6) 2)	測定費用の自己負担	精神障害者保健福祉手帳1級又は2級の交付を受けている方は無料	池田市
10. (6) 2)	測定費用の自己負担	精神障害者保健福祉手帳1級の交付を受けている方は無料	大東市/四條畷市
10. (6) 2)	測定費用の自己負担	被爆者健康手帳の交付を受けている方は無料	池田市
10. (6) 2)	測定費用の自己負担	中国残留邦人等の支援受給者	摂津市/岸和田市
10. (6) 2)	測定費用の自己負担	ひとり親家庭医療証所持の方は無料	岸和田市
10. (6) 2)	測定費用の自己負担	国保の人間ドックでのオプション検査の自己負担額は把握していない	八尾市
11. (2)	骨密度測定の事業評価の方法	市民アンケートによる過去5年間の骨粗しょう症検診を受けた者の割合（40～74歳女性）	大阪市
11. (2)	骨密度測定の事業評価の方法	年齢別の受診者数、受診率、要精検率、精検受診率を年度末に評価し、啓発活動等に生かしている。	吹田市
11. (2)	骨密度測定の事業評価の方法	検診受診率と精検受診率	池田市
11. (2)	骨密度測定の事業評価の方法	受診者の年代別集計や、精検受診率、精検結果などから実施機関である保健センターと年数回の事業評価を実施。	摂津市
11. (2)	骨密度測定の事業評価の方法	町内の事業成果報告、地域医療・保健事業推進協議会で年1回報告をしている。	島本町
11. (2)	骨密度測定の事業評価の方法	測定会参加者数で評価する。また、測定後に個別相談の場を設け、理解度アンケートの理解度を用いて評価する。	枚方市
11. (2)	骨密度測定の事業評価の方法	受診者数の推移で評価している	交野市/門真市
11. (2)	骨密度測定の事業評価の方法	性年齢別の受診者数を経年で評価している。	大東市
11. (2)	骨密度測定の事業評価の方法	検診の要精検率、要指導率を確認し、次年度の保健指導内容を検討。	四條畷市
11. (2)	骨密度測定の事業評価の方法	受診者に対し、アンケート調査を実施し、意識変化や行動変容を把握する。	東大阪市
11. (2)	骨密度測定の事業評価の方法	事業の流れ、申込者数、受診者数を把握	八尾市
11. (2)	骨密度測定の事業評価の方法	令和7年度実施にあたり、受診率・受診数の把握、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施体制の中で、高齢介護課・保険年金課とKDBデータ分析を共有している。	柏原市
11. (2)	骨密度測定の事業評価の方法	受診率で評価している	富田林市
11. (2)	骨密度測定の事業評価の方法	受診者数、要精検者数の把握 管理栄養士による健康教育や保健指導の実施者数	太子町
11. (2)	骨密度測定の事業評価の方法	保健指導後の医療機関受診率	高石市
11. (2)	骨密度測定の事業評価の方法	受診者数	和泉市
11. (2)	骨密度測定の事業評価の方法	検診は前年度の受診者数や受診率、要精検受診者数や受診率を出し、事業評価を行っている。イベント等の測定会は健康相談として事業評価している。	泉大津市
11. (2)	骨密度測定の事業評価の方法	受診者数、受診率の経年比較	岸和田市

## 【骨密度測定】大阪府内市町村における令和6年度の取り組み状況

「その他」でご回答いただいた内容

項目番号	項目	内容	市町村
11. (2)	骨密度測定の事業評価の方法	参加人数や年齢を記録している。	泉佐野市
11. (2)	骨密度測定の事業評価の方法	事業全体としては、参加者数をカウントしている。	阪南市
11. (2)	骨密度測定の事業評価の方法	受診者数を過去5年間比較	岬町
12. (1)	アピールポイント	がん検診との同時実施だけでなく、土日祝日の健康イベントにおいて併設し、予約不要にて実施している。	大阪市
12. (1)	アピールポイント	20歳から受診可能になっている。検診協力医療機関が多く、受診しやすい。	吹田市
12. (1)	アピールポイント	測定結果と年齢をもとに振り分けをおこない、委託先と市職員で個別指導を行う。	枚方市
12. (1)	アピールポイント	15歳以上の市民であれば誰でも受けることができる。予約制にはしているが、予約なしで来場した市民も受診することができる。	門真市
12. (1)	アピールポイント	健康まつりでの実施により対象を男女20歳以上に拡大し、健康意識の向上を図る	羽曳野市
12. (1)	アピールポイント	市内実施医療機関が多い	富田林市
12. (1)	アピールポイント	要精密検査者へ測定後すぐに保健指導を実施している	高石市
12. (1)	アピールポイント	30歳以上の町民であれば年度内に1回受診可能。	忠岡町
12. (1)	アピールポイント	健康イベント時に他課や企業の協賛で実施している。	泉佐野市
12. (1)	アピールポイント	特定健診やがん検診と同日で受診可能	岬町
12. (2)	課題	市保有の超音波骨密度測定装置を使用し、直営で骨粗しょう症予防検診を実施している。啓発としての骨密度測定を行うことは、検診とのすみ分けが困難である	堺市
12. (2)	課題	50・55・60・65・70歳の女性のうち要精検対象者へは、紹介状を発行し受診勧奨をしているが、その他の年齢の者へは受診勧奨（紹介状無し）を実施している。昨年度までのデータなどを踏まえ、その他の年齢の者への対応として要精検対象者の拡大をするか、今後検討する必要がある。	摂津市
12. (2)	課題	結果区分に応じた、検診頻度の設定のガイドラインが明確でないこと。	交野市
12. (2)	課題	現在集団検診のみの実施となっており、受診率は減少傾向にある。受診率向上に向け個別医療機関での実施も検討していきたいと考えている。	門真市
12. (2)	課題	対象者を40歳以上の市民としているため、毎年受診の問題（新規受診者の獲得が難しい）がある。	柏原市
12. (2)	課題	予算・人員の確保が困難	藤井寺市
12. (2)	課題	推奨される一次検診としての検査方法が決まっていないこと	富田林市
12. (2)	課題	機材と人材の確保が困難なため	大阪狭山市
12. (2)	課題	測定機器が高価でイベント時にリースしたり、外部委託したりしている。	泉佐野市
12. (2)	課題	予算の関係で実施が難しい	阪南市
12. (2)	課題	精密検査の体制が確立していない。	岬町

「骨粗鬆症対策・ロコモ予防に関する市町村の取組実態調査アンケート」への回答に関する補足

令和6年度の取組状況についてご回答ください。一部回答に説明が必要と考えられる設問につきましては、補足として以下を示しますので参考にしてください。

0 回答方法について（骨粗鬆症検診・骨密度測定・ロコモ予防共通）

- ・  は、該当する項目に「●」をプルダウンで選択してください。ひとつの設問につき、複数回答が可能です。
- ・  は、各設問での該当する項目1つに「●」をプルダウンで選択してください。
- ・  は、自由記載をお願いします。いずれの選択肢に該当するかがわからない場合は「その他」を選択し、具体的な内容をご回答ください。
- ・ 集計の都合上、セルや行・列の追加はご遠慮ください。（表示範囲を広げる場合は、行の幅を広げてください。）

1 骨粗鬆症対策（骨粗鬆症検診・骨密度測定）の事業について

- [1] 健康増進実施要領に基づいた事業（対象が、年齢：40, 45, 50, 55, 60, 65, 70歳の女性）については、「骨粗鬆症検診」として1つめのシート（水色）へのご回答をお願いします。
- [2] 健康増進実施要領に記載された対象者以外への事業は「骨密度測定」として2つ目のシート（オレンジ）へのご回答をお願いします。
- [3] 2.(1)について：健康増進事業実施要領では、40～70歳の5歳刻みで女性を対象としており、保険加入状況で限定していませんが、事業の実施で対象者を限定している場合があれば詳細にご回答ください。
- [4] 2.(2),③④⑤ 各保健事業の場での声掛けについては：検診受診の声掛けを個別に対象年齢の女性へしている場合は2.(1)に含めてください。こちらの声掛けは、全体に向けたものとしています。
- [5] 2.(3)について：「骨粗鬆症検診に関する掲載情報」とは、2.(1),(2)で受診勧奨や普及・啓発・広報などを実施している場合の内容を意図しています。
- [6] 3.(1)/9.(1) 測定結果による区分の実施について：実施場所や実施形態によって、区分の実施が異なる場合は、「④その他」を選択し、( )に詳細をご回答ください。
- [7] 3.(2) / 9.(2)：この保健指導では「リーフレットの配布のみ」の場合は除外とします。
- [8] 4.(1) 骨粗鬆症検診を実施している事業 / 10.(1) 骨密度測定を実施している事業について：さまざまな事業と骨粗鬆症検診・骨密度測定を同時実施している場合が考えられ、選択肢にある事業とあわせて骨粗鬆症検診・骨密度測定を対象者が同時に受けられるような体制となっている場合に、選択肢より回答してください。
- [9] 4.(6) / 10.(6)：検診・測定の自己負担について、自己負担の有無を1)にてご回答ください。なお、自己負担の免除の対象を設定や、イベント等での実施では無料で実施しているといった場合、2)にて詳細をご回答ください。
- [10] 5.(1)/11.(1) 管理について：測定結果の数値を記録・保管などしているかをおたずねしています。測定のみ、受診者本人への通知のみを行っている場合は「していない」を選択してください。

2 ロコモ予防を目的とした事業について

- [1] 2.の実施状況については、事業の運営で使用される予算の種類に従って「●」を選択してください。例えば、介護予防事業予算を用いて事業を運営している場合、「(2)介護予防事業での実施」の「実施あり」に「●」をしてください。健康増進事業と介護予防事業の両方の予算を用いて事業を実施している場合は、「(3)健康増進事業と介護予防事業の両方で実施」の「実施あり」に「●」をしてください。
- [2] 2.の「事業に参加した人数」「事業終了後の運動習慣が、開始時に比べてより良く変化した人数」については、以下の例を参考に記載してください。  
 例1：実人数が「37」と分かる場合 ⇒ ( 37 )人  
 例2：実人数は分からないが、延べ人数が「650」と分かる場合 ⇒ ( 延べ650 )人  
 例3：事業前後での運動習慣の変化を把握していない場合 ⇒ ( 0 )人  
 例4：実人数も延べ人数も分からない場合 ⇒ ( 不明 )人
- [3] 3.(1),1)の実施回数は、以下の例を参考に記載してください。  
 例1：（講義）単回の事業を、春に（年間1回）実施の場合 ⇒ 単回、年間実施(1)回  
 例2：（実技）単回の事業を、春と秋に（年間2回）実施の場合 ⇒ 単回、年間実施(2)回  
 例3：（実技など）2回1シリーズの事業を、秋に（年間1シリーズ）実施の場合 ⇒ シリーズ、年間実施(1)回、1シリーズあたり(2)回  
 例4：（講義・実技・測定など）3回1シリーズの事業を、秋と冬に（年間2シリーズ）実施の場合 ⇒ シリーズ、年間実施(2)回、1シリーズあたり(3)回
- [4] 3.(1),2)の実施体制については、事業の運営で使用される予算の種類に従って「●」を選択してください。例えば、介護予防事業予算を用いて事業を運営している場合、「(2)介護予防事業として実施」に「●」をしてください。健康増進事業と介護予防事業の両方の予算を用いて事業を実施している場合は、「(3)健康増進事業と介護予防事業の両方」に「●」をしてください。
- [5] 3.(2),2)の支援方法については、以下を参考に選択してください。  
 全体(集団)への支援：ロコモ(フレイルを含む)のリスクの有無を問わず、住民全体を対象に働きかける支援を意味する。  
 「ポピュレーションアプローチ」の考えに近い。  
 例：支援する対象者を絞る条件が年齢のみ(20歳以上など)  
 特定健診、母子保健事業等、既存事業に参加する全員を対象  
 対象者を絞った支援：市町村内で、ロコモ(フレイルを含む)のリスクが高いと考える条件を絞った対象者に働きかける支援を意味する。  
 「ハイリスクアプローチ」の考えに近い。  
 例：後期高齢者健診における質問票で運動機能項目が2個以上該当  
 要支援認定者  
 血圧・血糖・脂質の値が保健指導領域以上の住民

★このアンケートに関するお問い合わせは以下になります。

<問い合わせ先> 大阪健康安全基盤研究所 公衆衛生部 疫学解析研究課 担当:木曾  
 E-mail : epiana@iph.osaka.jp TEL:06-6972-5577(平日9:00~17:00)

(2025年度実施) 令和6年度状況 保健事業の取組実態の把握【骨粗鬆症対策(骨粗鬆症検診)】

この調査は、大阪府内市町村の保健事業の取組実態を把握し、進捗状況の見える化(可視化)を経年的に行うとともに、好事例を収集し、市町村保健事業の支援(研修会での情報共有や相談、助言等)に活かすことを目的としています。

今回は、第4次大阪府健康増進計画の計画期間初年度(令和6年度)の「骨粗鬆症対策」、「ロコモティブシンドローム予防(フレイル予防を含む)」に関する事業について、各項目別にどのように実施しているか現状を調査します。

結果は、当研究所の研修会やホームページ等を通じて報告を予定しています。また、後日好事例の収集等の目的で、個別に問い合わせる場合がありますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

- ・ **令和6年度の取組状況**について、各項目のご回答をお願いいたします。
- ・  は、該当する項目に「●」をプルダウンで選択してください。(複数回答可)
- ・  は、各設問での該当する項目1つに「●」をプルダウンで選択してください。
- ・  は、自由記載をお願いします。
- ・ 骨粗鬆症検診については「健康増進事業実施要領」に基づき、質問項目を設定しており、実施要領で対象としている「年齢・女性」に関してご回答をお願いします。また、健康増進事業補助金の利用の有無にかかわらず、ご回答をお願いします。
- ・ 設問1～6まであります。

【回答者情報】

市町村名				ふりがな			
所属部・課				回答者名			
電話番号				E-mail			
回答者職種 <small>(複数回答可能な場合は、代表者の職種に●を選択してください。)</small>	<input type="checkbox"/> ① 保健師	<input type="checkbox"/> ② 管理栄養士・栄養士	<input type="checkbox"/> ③ 事務				
	<input type="checkbox"/> ④ その他→詳細 ( )						

【1～6:骨粗鬆症検診について】

1. 骨粗鬆症検診について、当てはまるものに「●」をご回答ください。
- (1) 骨粗鬆症検診に関し、下記について該当する項目に「●」でご回答ください。(複数回答可)
- ①  健康増進計画の指標としている
  - ②  骨密度検査・測定機器を市町村として所持している
- (2) 骨粗鬆症検診に関する捉え方について該当する項目に「●」でご回答ください。(当てはまるもの1つ)
- ①  骨粗鬆症検診を実施しており、さらなる取り組みの拡大等に向け検討もしている
  - ②  骨粗鬆症検診を実施し、引き続き現状の実施を考えている
  - ③  骨粗鬆症検診を実施していないが、実施に向け検討をしている
  - ④  骨粗鬆症検診を実施しておらず、実施に向けた検討もしていない
  - ⑤  その他 ( )
- ③④を選択した場合、6.(2)をご回答ください。
2. 受診勧奨、普及・啓発  
 [対象年齢(40, 45, 50, 55, 60, 65, 70歳)の女性への骨粗鬆症検診への受診勧奨※について]  
 ※この場合の「受診勧奨」とは、対象者への個別の勧奨(受診券の送付、案内文の通知など)のことを示します。
- (1) 個別の受診勧奨の実施の有無について、実施の対象年齢に「●」を選択してください。(複数回答可)
- ①  40歳女性
  - ②  45歳女性
  - ③  50歳女性
  - ④  55歳女性
  - ⑤  60歳女性
  - ⑥  65歳女性
  - ⑦  70歳女性
- (2) 受診勧奨以外の広報・啓発(個別の受診勧奨以外) について該当する実施項目に「●」でご回答ください。(複数回答可)
- ①  ホームページ、広報誌での骨粗鬆症検診の案内
  - ②  ポスター掲示等による案内
  - ③  乳幼児健診での声掛け
  - ④  がん検診での声掛け
  - ⑤  特定健診での声掛け
  - ⑥  イベント、他の健康教室等での声掛け
  - ⑦  その他 ( )

(3) 骨粗鬆症検診に関する掲載情報について該当する実施項目に「●」でご回答ください。(複数回答可)

- ①  骨粗鬆症検診を実施できる場所の案内 ②  委託している医療機関の紹介  
 ③  骨粗鬆症予防に関する情報提供 ④  骨粗鬆症検診の検査・測定等の項目内容  
 ⑤  検査・測定のコスト ⑥  その他(  )

### 3. 検診後の対応

(1) 測定結果による区分の実施(区分:「異常なし」、「要指導」、「要精検」)について、該当する項目に「●」でご回答ください。(当てはまるもの1つ)

- ①  区分は行っていない。  
 ②  「異常なし」、「要指導」、「要精検」という結果は出ているものの、受診者に示していない。  
 ③  区分を受診者に示している。  
 ④  その他(  )

(2) 測定後の保健指導・受診(受療)勧奨について(3.(1),③で「●」と回答した場合)

1) 「異常なし」の方への対応について該当する項目に「●」でご回答ください。(複数回答可)

- ①  翌年度の検診・測定への受診勧奨  
 ②  骨粗鬆症予防に関する保健指導の実施  
 ③  その他(  )

2) 「要指導」の方への対応について該当する項目に「●」でご回答ください。(複数回答可)

- ①  翌年度の検診・測定への受診勧奨  
 ②  骨粗鬆症対策についての保健指導の実施  
 ③  生活習慣行動の改善指導等の保健事業への参加の促し  
 ④  再検査の案内  
 ⑤  その他(  )

3) 「要精検」の方への対応について該当する項目に「●」でご回答ください。(複数回答可)

- ①  医療機関での精密検査の受診勧奨  
 受診勧奨後の受療確認 → 確認方法(  )  
 ②  骨粗鬆症対策についての保健指導の実施  
 ③  生活習慣行動の改善指導等の保健事業への参加の促し  
 ④  翌年度の検診・測定への受診勧奨  
 ⑤  その他(  )

4) 保健指導の方法について該当する項目に「●」でご回答ください。(複数回答可)

- ①  個別での指導(対面) ②  集団での指導(対面)  
 ③  リフレット等の配布 ④  その他(  )

5) その他、測定後の対応に関して、1)~4)の回答以外で特筆する内容があればご回答ください。

[  ]

### 4. 実施の場について

(1) 骨粗鬆症検診を実施している保健事業等について該当する項目に「●」でご回答ください。(複数回答可)

- ①  特定健診 ②  妊婦健診・乳幼児健診 ③  がん検診  
 ④  人間ドック ⑤  健康教室 ⑥  さまざまなイベントでの実施  
 ⑦  骨粗鬆症検診(これのみを行う独立した事業)  
 ⑧  その他(  )

(2) 検診・測定の手続き方法について該当する項目に「●」でご回答ください。(複数回答可)

- ①  健診等での申込時のオプション選択ができるようにしている  
 ②  ホームページ・広報誌の掲載内容を確認、あるいは受診券を用いて、本人が申し込む  
 ③  申込不要で受けられるようになっている  
 ④  その他(  )

(3) 実施体制について該当する項目に「●」でご回答ください。(複数回答可)

1) 担当部署(事業計画等を行う)

- ①  市町村直営 ②  外部委託  
 ③  その他(  )

2) 測定等の直接的な実施

- ①  市町村(保健センター等での実施) ②  委託先医療機関・検診機関での実施  
 ③  その他(  )

3) その他実施体制に関することで、1),2)での回答以外で特筆する内容があればご回答ください。

[  ]

(4) 医師会との連携について該当する項目に「●」でご回答ください。(複数回答可)

- ①  骨粗鬆症検診の委託実施  
 ②  骨粗鬆症検診実施後の要精密検査フォロー依頼(受診機関リスト一覧の掲示など)  
 ③  紹介状発行後のフォロー結果の返戻  
 ④  その他(  )

(5) 骨粗鬆症検診の実施時期について該当する項目に「●」でご回答ください。(複数回答可)

- ①  骨粗鬆症検診を通年で実施している  
 ②  骨粗鬆症検診を他の保健事業やイベント等で期間を限定して実施している  
 ③  その他(  )

(6) 骨粗鬆症検診の実施(受診)のコスト(自己負担)についてご回答ください。

1) 受診者の自己負担の有無についてご回答ください。(当てはまるもの1つ)

- ①  自己負担なし ②  自己負担あり → (  )円

2) 対象者や実施状況によって自己負担が異なる場合、その内容をご回答ください。

[  ]

### 5. 事後について

(1) 測定結果の管理方法について該当する項目に「●」でご回答ください。(複数回答可)

- ①  フォローシートを作成し、その後の経過等を管理  
 ②  自治体の健康管理システム等に入力  
 ③  測定結果をExcelファイル等で保管  
 ④  結果票の控え(紙媒体)を保管  
 ⑤  その他(  )

(2) 骨粗鬆症検診に関して、事業評価をどのように実施しているかご回答ください。

[  ]

### 6. その他

(1) 骨粗鬆症検診についてのアピールポイントがあればご回答ください。

[  ]

(2) 骨粗鬆症検診に関する課題(実施のハードルとなること、対策の方針など)があればご回答ください。

[  ]

**〔2025年度実施〕令和6年度状況 保健事業の取組実態の把握【骨粗鬆症対策(骨密度測定)】**

この調査は、大阪府内市町村の保健事業の取組実態を把握し、進捗状況の見える化(可視化)を経年的に行うとともに、好事例を収集し、市町村保健事業の支援(研修会での情報共有や相談、助言等)に活かすことを目的としています。

今回は、第4次大阪府健康増進計画の計画期間初年度(令和6年度)の「骨粗鬆症対策」、「ロコモティブシンドローム予防(フレイル予防を含む)」に関する事業について、各項目別にどのように実施しているか現状を調査します。

結果は、当研究所の研修会やホームページ等を通じて報告を予定しています。また、後日好事例の収集等の目的で、個別に問い合わせる場合がありますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

- ・ **令和6年度の取組状況**について、各項目のご回答をお願いいたします。
- ・  は、該当する項目に「●」をプルダウンで選択してください。(複数回答可)
- ・  は、各設問での該当する項目1つに「●」をプルダウンで選択してください。
- ・  は、自由記載をお願いします。
- ・ **健康増進実施要領で対象としている「年齢・女性」以外**についてご回答をお願いします。
- ・ 設問7～12までであります。

**【回答者情報】**

市町村名	ふりがな		
所属部・課	回答者名		
電話番号	E-mail		
回答者職種 <small>(複数人で回答された場合は、代表者の職種に●を選択してください。)</small>	<input type="checkbox"/> 保健師	<input type="checkbox"/> 管理栄養士・栄養士	<input type="checkbox"/> 事務
	<input type="checkbox"/> その他→詳細( )		

**〔7～12:骨密度測定について〕**

**7. 骨密度測定について、当てはまるものに「●」でご回答ください。**

- (1) 骨密度測定に関し、下記について該当する項目に「●」でご回答ください。(複数回答可)
- 健康増進計画の指標としている
  - 骨密度検査・測定を市町村として所持している
- (2) 骨密度測定に関する捉え方について該当する項目に「●」でご回答ください。(当てはまるもの1つ)
- 骨密度測定を実施しており、さらなる取り組みの拡大等に向け検討もしている
  - 骨密度測定を実施し、引き続き現状の実施を考えている
  - 骨密度測定を実施していないが、実施に向け検討をしている
  - 骨密度測定を実施しておらず、実施に向けた検討もしていない
- **③、④を選択した場合、12.(2)をご回答ください。**
- その他( )

**8. 受診勧奨、普及・啓発**

〔対象年齢の女性以外への骨粗鬆症検診への受診勧奨や普及・啓発について〕

- (1) 対象限定の有無について該当する項目に「●」でご回答ください。(当てはまるもの1つ)
- 限定なし(住民全員)
  - 限定あり ----- →
    - 性別 →詳細( )
    - 年齢 →詳細( )
    - 健康保険 →詳細( )
- (限定している場合、①～③で該当する項目に「●」でご回答ください。(複数回答可))
- (2) 対象年齢の女性以外への骨密度測定の受診勧奨や普及・啓発について該当する実施項目に「●」でご回答ください。(複数回答可)
- 受診券やハガキ・封書等の送付による勧奨
  - ホームページ、広報誌での骨密度測定の案内
  - ポスター掲示、チラシの自由配布
  - 他事業での声掛け
  - その他( )

**9. 測定後の対応**

- (1) 測定結果による区分の実施(区分:「異常なし」、「要指導」、「要精検」)について、該当する項目に「●」でご回答ください。(当てはまるもの1つ)
- 区分は行っていない。
  - 「異常なし」、「要指導」、「要精検」という結果は出ているものの、受診者に示していない。
  - 区分を受診者に示している。
  - その他( )

(2) 測定後の保健指導・受診(受療)勧奨について(9.(1),③で「●」と回答した場合)

1) 「異常なし」の方への対応について該当する項目に「●」でご回答ください。(複数回答可)

- 翌年度の検診・測定への受診勧奨
- 骨粗鬆症予防に関する保健指導の実施
- その他( )

2) 「要指導」の方への対応について該当する項目に「●」でご回答ください。(複数回答可)

- 翌年度の検診・測定への受診勧奨
- 骨粗鬆症対策についての保健指導の実施
- 生活習慣行動の改善指導等の保健事業への参加の促し
- 再検査の案内
- その他( )

3) 「要精検」の方への対応について該当する項目に「●」でご回答ください。(複数回答可)

- 医療機関での精密検査の受診勧奨  
 受診勧奨後の受療確認 →確認方法( )
- 骨粗鬆症対策についての保健指導の実施
- 生活習慣行動の改善指導等の保健事業への参加の促し
- 翌年度の検診・測定への受診勧奨
- その他( )

4) 保健指導の方法について該当する項目に「●」でご回答ください。(複数回答可)

- 個別での指導(対面)
- 集団での指導(対面)
- リーフレット等の配布
- その他( )

5) その他、測定後の対応に関して、1)～4)の回答以外で特筆する内容があればご回答ください。

( )

**10. 実施の場について**

(1) 骨密度測定を実施している保健事業等について該当する項目に「●」でご回答ください。(複数回答可)

- 特定健診
- 妊婦健診・乳幼児健診
- がん検診
- 人間ドック
- 健康教室
- さまざまなイベントでの実施
- 骨密度測定会(これのみを行う独立した事業)
- その他( )

(2) 測定の申込方法について該当する項目に「●」でご回答ください。(複数回答可)

- 健診等での申込時のオプション選択ができるようにしている
- ホームページ・広報誌の掲載内容を確認、あるいは受診券を用いて、本人が申し込む
- 申込不要で受けられるようになっている
- その他( )



3. 「2. 現在のロコモ予防を目的とした事業の実施状況について」の(1)～(4)の質問で、「実施あり」と回答した場合、特に重点を置いて取り組んでいる事業について、以下の質問にご回答ください。

(1) 1) 内容 事業名( )

実施回数 ①  単回 年間実施( )回  
(①、②いずれか1つを「●」で選択してください)  
 ②  シリーズ 年間実施( )回 1シリーズあたり( )回

2) 実施体制について該当する項目に「●」でご回答ください。(複数回答可)  
 ①  健康増進事業として実施 ②  介護予防事業として実施  
 ③  健康増進事業と介護予防事業の両方 ④  その他 ( )

3) 事業実施に関連している機関について該当する項目に「●」でご回答ください。(複数回答可)  
 ①  直営(市町村) ②  外部委託(業者等) ③  その他 ( )

(2) 1) 対象限定の有無について該当する項目に「●」でご回答ください。(当てはまるもの1つ)  
 0.  限定なし(住民全員)  
 1.  限定あり ----- → ①  年齢 → 詳細( )  
(限定している場合、①～②で該当する項目に「●」でご回答ください。(複数回答可))  
 ②  その他 → 詳細( )

2) 支援方法について、該当する項目に「●」でご回答ください。(当てはまるもの1つ)  
 1.  全体(集団)への支援 2.  対象者を絞った支援

(3) 事業運営方法について該当する項目に「●」でご回答ください。(当てはまるもの1つ)  
 1.  ロコモ予防を主とした事業  
 2.  既存事業にあわせたロコモ予防事業 ↓ (既存事業にあわせて実施している場合、①～⑦で該当する項目に「●」でご回答ください。(複数回答可))  
 ①  特定健診、がん検診 ②  妊婦健診、乳幼児健診  
 ③  骨粗鬆症検診・骨密度測定 ④  フレイル予防教室 ⑤  介護予防教室  
 ⑥  通いの場 ⑦  その他 ( )

(4) 実施体制の工夫の有無や内容について該当する項目に「●」でご回答ください。(当てはまるもの1つ)  
 0.  なし  
 1.  あり ↓ (実施体制の工夫がある場合、①～④で該当する項目に「●」でご回答ください。(複数回答可))  
 ①  実施場所の工夫 → 詳細 ( )  
 ②  実施期間、曜日の工夫 → 詳細 ( )  
 ③  実施回数の工夫 → 詳細 ( )  
 ④  その他 → 詳細 ( )

(5) 1) 事業内容について該当する項目に「●」でご回答ください。(複数回答可)  
 ①  講義 ②  実技  
 ③  運動機能に関する測定と結果説明 ④  運動機能以外に関する測定と結果説明  
 ⑤  その他 ( )

2) 問診の実施の有無や内容について該当する項目に「●」でご回答ください。(当てはまるもの1つ)  
 0.  実施なし  
 1.  実施あり ↓ (問診が実施ありの場合、①～⑩で該当する項目に「●」でご回答ください。(複数回答可))  
 ①  運動の頻度・程度 ②  身体活動の有無 ③  食事内容  
 ④  喫煙・飲酒状況 ⑤  過去の転倒の有無 ⑥  既往歴、現在治療中の病気  
 ⑦  ロコモ25/ロコモ5 ⑧  基本チェックリスト(フレイル)  
 ⑨  イレブンチェック ⑩  その他 ( )

(6) 1) 保健指導や情報提供の実施の有無や方法について該当する項目に「●」でご回答ください。(当てはまるもの1つ)  
 0.  実施なし  
 1.  実施あり ↓ (保健指導や情報提供の実施がある場合、①～④で該当する項目に「●」でご回答ください。(複数回答可))  
 ①  集団での実施(対面) ②  個別での実施(対面)  
 ③  リーフレット等の配布 ④  その他 ( )

2) 保健指導や情報提供の内容について該当する項目に「●」でご回答ください。(複数回答可)  
 ①  運動に関する保健指導の実施 ②  食生活に関する保健指導の実施  
 ③  運動・食生活以外の保健指導(禁煙・節酒) ④  運動習慣改善に関する保健事業の紹介  
 ⑤  運動以外の生活習慣改善に関する保健事業の紹介 ⑥  介護予防事業やサービスの紹介  
 ⑦  その他 ( )

(7) 他機関との連携や住民への支援の有無や内容について該当する項目に「●」でご回答ください。(当てはまるもの1つ)  
 0.  実施なし  
 1.  実施あり ↓ (実施ありの場合、①～④で該当する項目に「●」でご回答ください。(複数回答可))  
 ①  自課以外の課との連携(管内連携) ②  地域職域連携、産学官連携  
 ③  自主グループの立ち上げ、継続支援  
 ④  その他 ( )

(8) 1) ロコモ予防を目的とした事業の実施後のフォローについて該当する項目に「●」でご回答ください。(当てはまるもの1つ)  
 0.  実施なし  
 1.  実施あり ↓ (事業の実施後のフォロー実施がある場合、①～⑤で該当する項目に「●」でご回答ください。(複数回答可))  
 ①  電話 ②  訪問や面接(対面)  
 ③  手紙 ④  フォローアップ教室の開催  
 ⑤  その他 ( )

2) ロコモ予防を目的とした事業の実施後のフォローで、確認をする内容について該当する項目に「●」でご回答ください。(複数回答可)  
 ①  運動習慣の状況や変化 ②  運動習慣以外の生活習慣の状況や変化  
 ③  市町村で行う保健事業の利用状況 ④  受診状況の確認、服薬状況の確認  
 ⑤  運動機能に関する測定結果の変化  
 ⑥  その他 ( )

3) ロコモ予防を目的とした事業の実施後のフォローで、保健指導や情報提供をする内容について該当する項目に「●」でご回答ください。(複数回答可)  
 ①  運動に関する保健指導の実施 ②  食生活に関する保健指導の実施  
 ③  運動・食生活以外の保健指導(禁煙・節酒) ④  運動習慣改善に関する保健事業の紹介  
 ⑤  運動以外の生活習慣改善に関する保健事業の紹介 ⑥  介護予防事業やサービスの紹介  
 ⑦  その他 ( )

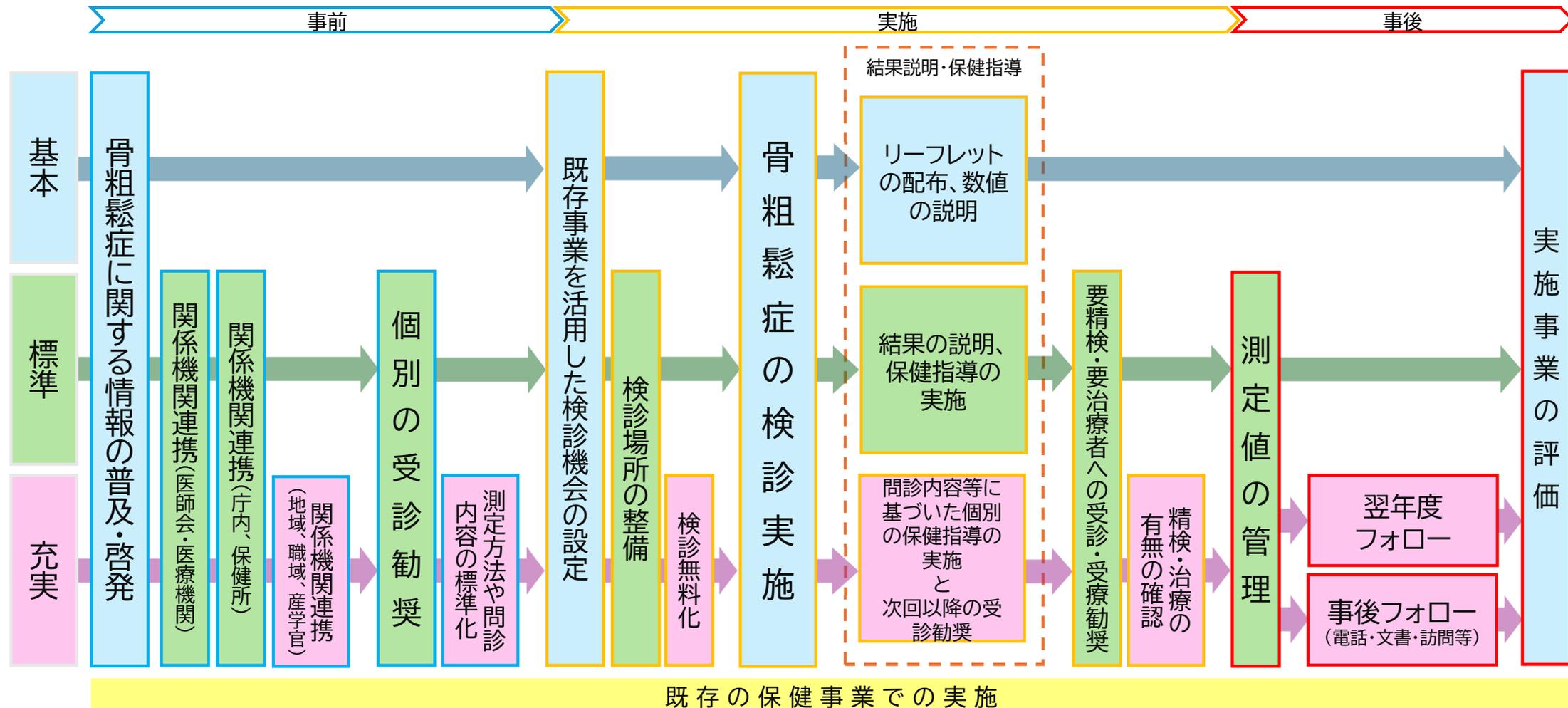
(9) ロコモ予防を目的とした事業に関して、事業評価をどのように実施しているかご回答ください。  
 { }

4. ロコモ予防を目的とした事業の課題やご意見、新規事業などの計画について  
 (1) ロコモ予防を目的とした事業に関するアピールポイントがあればご回答ください。  
 { }

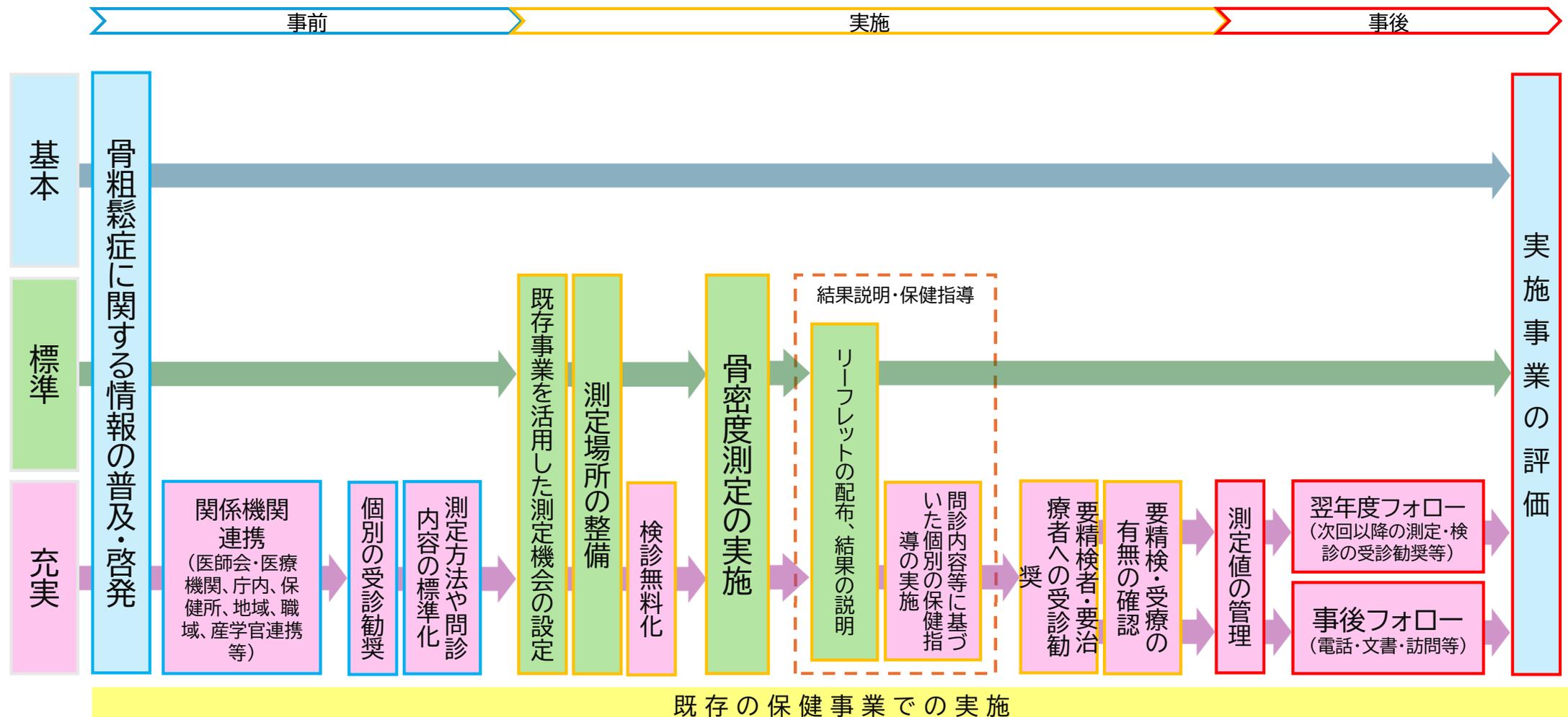
(2) ロコモ予防を目的とした事業に関する課題(実施のハードルとなること、対策の方針など)があればご回答ください。  
 { }

(3) 次年度(令和7年度)に向けて、ロコモ予防を目的とした新規事業を計画実施したかどうかについて該当する項目に「●」でご回答ください。(当てはまるもの1つ)  
 ①  令和7年度に向けて、新規事業の計画はしなかった。  
 ②  令和7年度に向けて新規事業を計画したが、実施とはならなかった。  
 ③  令和7年度に向けて新規事業を計画し、実施している(または、実施予定である)。

【概要版】汎用性の高い行動変容プログラム(第二期)  
骨粗鬆症対策 - 骨粗鬆症検診の受診率向上



【概要版】汎用性の高い行動変容プログラム(第二期)  
**骨粗鬆症対策 - 骨粗鬆症対策のさらなる充実**



【概要版】汎用性の高い行動変容プログラム(第二期)  
 ロコモ予防(フレイル予防を含む)

計画

実施(自身の身体機能を知ることを促す)

事後(習慣的な身体活動を促す)

全体(集団)への支援

対象者を絞った支援

ロコモ予防を目的とした住民の健康状態の把握  
※2年目以降は前年度事業の評価も参考にする

ロコモの認知度を上げる啓発・周知

ロコモ予防を主とした事業  
または  
 既存事業に併せたロコモ予防事業

実施体制の工夫  
 (場所・曜日・回数・運動レベル別など)

ロコチエック／ロコモ判定  
 運動測定

参加者全体への  
 結果説明・運動情報提供

個別性のある  
 結果説明・運動情報提供

市町村開催事業・サービスの案内周知

機関連携・運動の継続が可能な環境整備  
 (地域住民・地域職域連携・産学官連携)  
 (管内)

事後フォロー  
 TEL・訪問・面接

フォローアップ  
 (測定・運動の振り返り)  
 実施

事業評価・対象者検討など振り返り